

**アフターコロナの地方観光・インバウンド対策**

**オンラインセミナー**

１　趣　旨

　　新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済活動が大きく低迷を招く中、観光業や飲食業をはじめとした

各産業に大きな影響を及ぼしています。旅行についてはコロナの直前から「地方」への関心が高まってきたと

ころであり、今後の国内市やインバウンドも「個人旅行」や「小グループ化」が一層進むと考えられます。

　　そこで、アフターコロナを地方にとって一つの好機に変えるため、個人客・小グループをターゲットとした

具体的な対策を学ぶと共に、お茶を使った「おもてなし」をマスターし、観光ビジネスに役立つセミナーをオ

ンラインで開催いたします。

２　主　催・共　催

　　主催：京丹後製茶株式会社　共催：海の京都ＤＭＯ（一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社）

後援：京都府丹後広域振興局、京丹後市役所農業振興課

３　対象者　　海の京都DMOエリアの観光業関係者

４　募集人員　　最大２００名（Ｚｏｏｍによるオンラインセミナー）

５　開催場所・時間・内　容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時期・場所** | **内容** | **講師** |
| 令和２年  １０月２８日（水）  13：30～15：30 | 【　第一部　】講演  ◆アフターコロナの地地方観光・インバウンドを考える  アフターコロナで地方観光が一層進むことが想定される中、集客への対応策や将来復活するインバウンドマーケットの現状、ビジネスの視点から開拓の方法、観光商品化に向けたポイントなどを最新動向を交えて語ってもらいます | 森田観光ビジネスサポート  　代表 |

６　受講料　無料

７　申込方法

　　・令和2年10月27日（火）12:00までに申込フォームにてお申し込みください。

　<<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScTXCltg4cFe2WY2VQngM3MiraQVj-YMh7PPj4n0jmMIz77mQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link>>

　　・問い合わせ　京丹後製茶（株）　アフターコロナ対策オンラインセミナー担当

　　　 メールアドレス：[kyoutangoseicha@gmail.com](mailto:kyoutangoseicha@gmail.com)

アフターコロナの地方観光・インバウンド対策セミナー概要

講師：森田観光ビジネスサポート　森田英一氏

➀コロナ渦から観光回復期へ「我々は何故、観光振興に取り組むのか？」

観光業界をはじめ、各産業に未曾有の打撃を与えた新型コロナウイルス。

日本では経済回復へ向けた方向へ転換、観光産業においてはGoToトラベル事業がスタート。

ここでは、世界や日本における観光産業の姿と経済的な役割を紹介し、特に急激な人口減少、少子高齢会対策として観光産業が地方に必要であることを再確認します。

②withコロナ期に見る観光スタイルの変化

観光のニューノーマルとは。星のやの代表者が提唱したマイクロツーリズムという今まで意識があまりなかった近郊旅やハイキングなど自然や景観を楽しむ旅、車中泊や自家用車利用の増加に見る個別旅など、京丹後市の個々の事業者にとっても今後の商品づくりに活かせるかもしれない新しいニーズが巻き起こっています。

③完全回復へ向けて今からできるアクション～国内観光市場～

京都市内では比較的大きな修学旅行も既に実施されているものの、市場の回復はまだまだ個人旅行から。

近隣、地方、郊外というキーワードで訪問動機を喚起できる可能性がある京丹後市は、近畿、北陸、山陰からの新規旅客の誘致による「新たなリピーターづくり」や「評判づくり」の絶好のチャンス。

その誘致にあたり、個人客に対して最も重要な施策は今の時代はインターネットによるデジタル対策。

公的観光振興組織や民間事業者まで、簡単で費用をかけずにできる「観光Webマーケティング」実施のための基本事項を紹介します。

④完全回復へ向けて今からできるアクション～インバウンド市場～

国策として推進されるインバウンド市場はコロナ渦前には好調に推移、旅行ディスティネーションとしての日本に魅力があり将来的にも有望であることが確認されました。政府はコロナ後のこの先も変わらずインバウンド6,000万人の目標を掲げています。

京丹後市にとって未だ“のびしろ”が多いと言えるインバウンド市場に関する基礎知識とともに、訪日客の嗜好やニーズを紹介。ただ、訪問を待つだけではなく、旅客の流通を捉え、積極的な誘致を図ることで成果が得られることを同じ京都のお茶の京都エリアでの実例なども含め、京丹後市での方策を検討します。

⑤京丹後市休日フィールドワークレポート

森田自身がこの日の前に実施した日帰り観光で見た、京丹後市の魅力や可能性のポイントを報告します。